



神奈川県のプラスチック 資源循環促進に向けた取組



令和4年2月2日 神奈川県環境農政局環境部資源循環推進課

本県の海岸ごみの現状

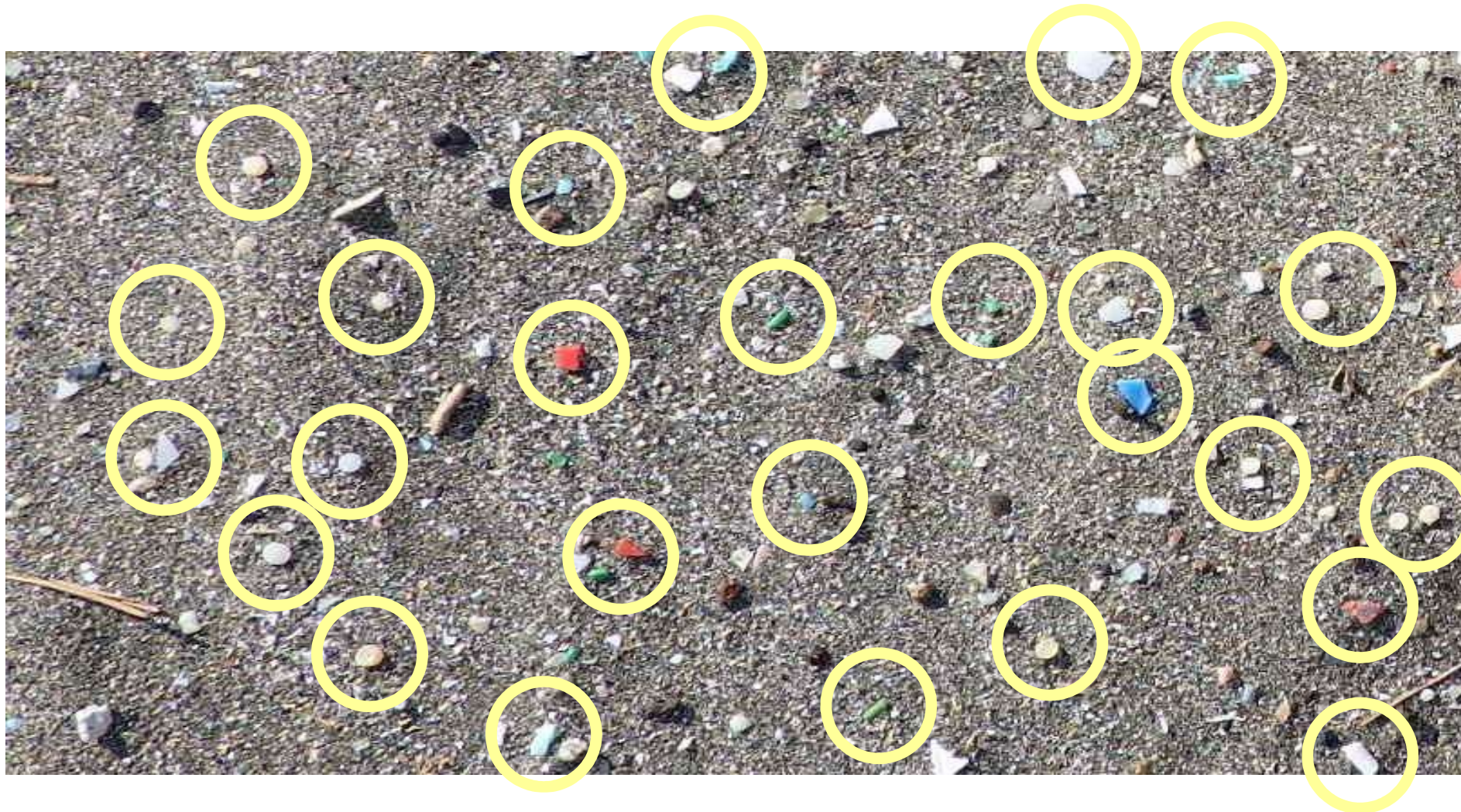
藤沢市境川の河口部で10メートル四方の海岸にある人工ごみを回収し、分類した結果



カンとビンは合わせて全体の約30%に過ぎず、全体の約60%を占めるのがプラごみでした。

その内容は、食品トレー、植木鉢、洗剤の容器、お菓子などの包装、荷造り用のバンドなど、多種にわたりますが、半分以上がペットボトルです。有料化や廃止など関心が高まっているレジ袋やストローはごく少量でした。

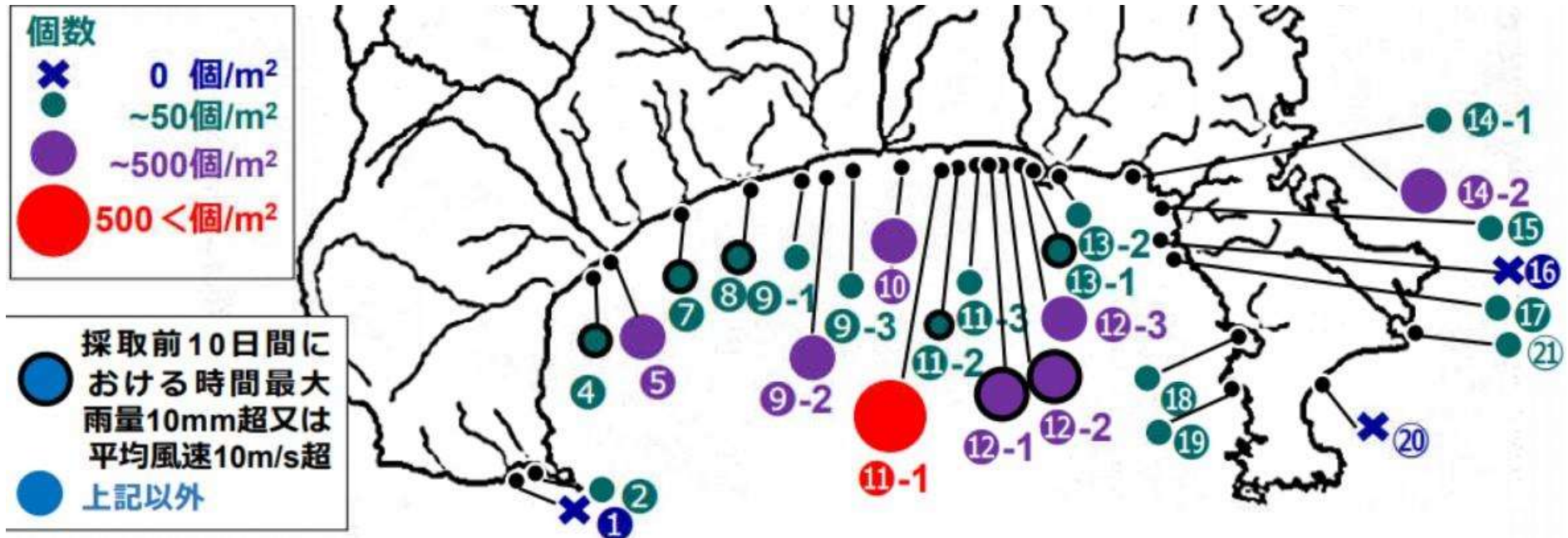
海岸のマイクロプラスチック(MP)



場所：鎌倉市由比ヶ浜海岸

環境科学センターにおけるマイクロプラスチックの調査

神奈川県環境科学センターは、2017年度から、相模湾沿岸のマイクロプラスチック汚染の実態を明らかにするための研究に取り組んでいます。



ビーズクッション由来と推定される微小ポリスチレン球



被覆肥料由来と推定される中空球状マイクロプラスチック



人工芝由来と推定される緑色へら状マイクロプラスチック



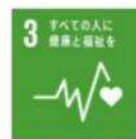
漂着樹脂ペレット(PE、PP)

かながわプラごみゼロ宣言



私たち一人ひとりの行動が、
未来につながる。

SDGs 未来都市 神奈川県



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS
世界の持続可能な17の目標



撮影: (公財) かながわ海岸美化財団

海洋汚染が今、世界規模で大きな社会問題となっています。また、プラスチックごみが小さく砕けてできたマイクロプラスチックが、世界中の海で確認されています。こうしたことから、世界中に展開している飲食店でプラスチック製ストローを廃止する動きが広がっています。そんな状況の中、鎌倉市由比ガ浜でシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックごみが発見されました。

SDGs未来都市である神奈川県は、これを「クジラからのメッセージ」として受け止め、深刻化する海洋汚染、特にマイクロプラスチック問題から、SDGs推進に取り組みます。プラスチック製ストローやレジ袋の利用廃止・回収などの取組を神奈川から広げていくことで、**SDGs達成に向け、2030年までのできるだけ早期に捨てられるプラごみゼロを目指します。**

神奈川県知事 黒岩 祐治
(平成30年9月4日発表)

かながわプラごみゼロ宣言アクションプログラム

本県は、「かながわプラごみゼロ宣言」の実現のため、具体の行動計画である「かながわプラごみゼロ宣言アクションプログラム」を令和2年3月に策定しました。

アクションプログラムでは、2030年までのできるだけ早期に、リサイクルされない、廃棄されるプラごみゼロを目指すため、①使い捨てプラ、いわゆるワンウェイプラの削減、②プラごみの再生利用の推進、③地域清掃活動などのクリーン活動等の拡大に取り組んでいくこととしました。



○ 推進方策

1 ワンウェイプラの削減

- 主な取組
- ◇ ワンウェイプラ削減実行委員会の設立
 - ・ 賛同企業等による削減に向けた独自取組
 - ◇ ワンウェイプラ削減フォーラムの開催
 - ・ 優良取組事例の発表、市町村・企業等の連携促進

2 プラごみの再生利用の推進

- ◇ ペットボトルの3分別による再生利用の推進
 - ・ 3分別の徹底とモデル事業の実施
- ◇ ペットボトル以外の廃プラスチック類の再生利用の推進
 - ・ 廃棄物自主管理事業による推進

3 クリーン活動の拡大等

- ◇ クリーン活動の拡大
 - ・ 行政、市民団体、企業によるクリーン活動
 - ・ クリーンアクティブ・フォーラムの開催
- ◇ 不法投棄対策の推進
 - ・ ドローンによるスカイパトロール
 - ・ 団体、企業と連携した監視活動

ワンウェイプラの削減の取組

○ワンウェイプラ削減実行委員会

R2.7 神奈川県レジ袋削減実行委員会を改組して発足

構成員：160者（小売企業等63、商店街連合会19、団体・学校45、市町村33、県）

主な取組：ワンウェイプラ削減の取組事例に関する調査・情報発信
連絡会の開催による情報交換

○プラごみゼロ宣言賛同企業等による取組の推進

H30.12から募集開始（募集中）

現在、2046者（企業1926、団体108、学校12）



<https://www.pref.kanagawa.jp/docs/p3k/sdgs/sandoukigyoyou.html>

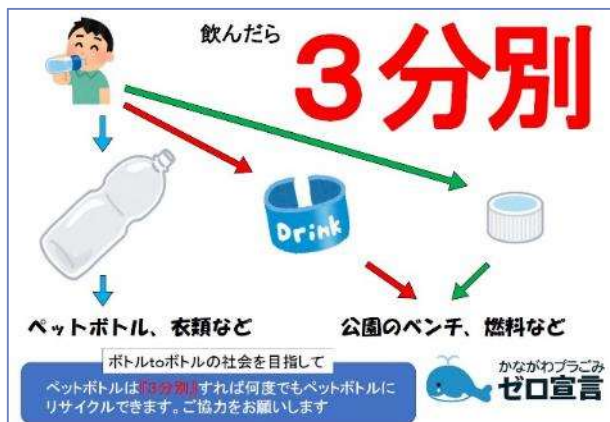
○「ワンウェイプラ削減フォーラム」（今後開催予定） 優良取組事例の発表、市町村・企業等の連携促進



プラごみの再生利用の推進の取組

○ペットボトルの3分別による再生利用の推進

- ・ 県庁舎における取組



職員等に3分別の実施を周知



【パントリーのゴミ箱】
R2年度は、ほぼ全てを
ペットボトル原料に再生



【自販機横ゴミ箱】
R3年度から自販機ベンダーと
の契約内容に回収ボトルの再
生利用用途を原則BtoBとする
旨を追加

- ・ 「かながわペットボトルモデル事業推進コンソーシアム」によるモデル事業
(後述)

○ペットボトル以外の廃プラの再生利用の推進

産業廃棄物の多量排出事業者等を対象とした、
「廃棄物自主管理事業」により、廃プラの3Rを推進



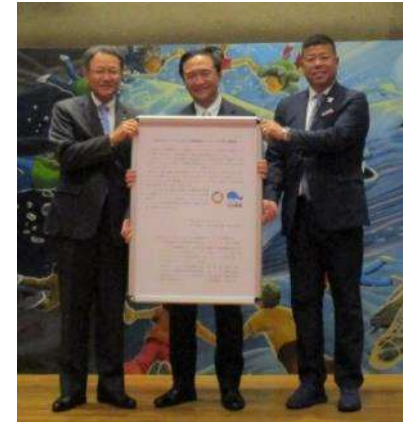
R元年度「自主管理事業説明会」

「かながわペットボトルモデル事業推進コンソーシアム」

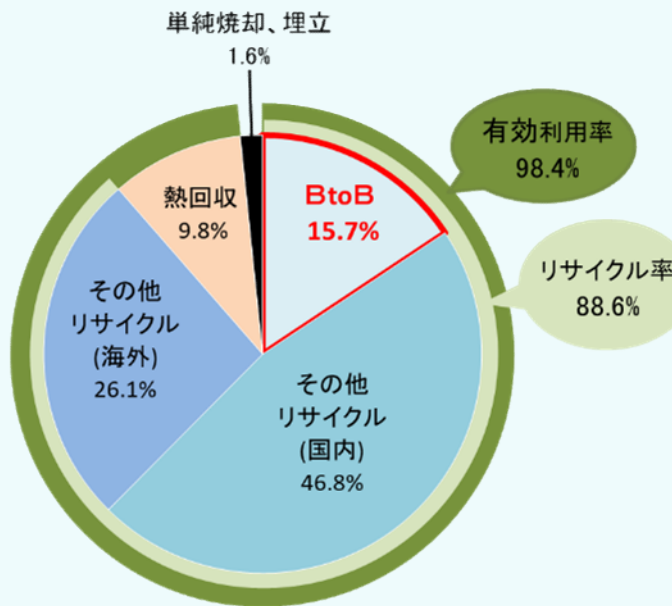
「かながわペットボトルモデル事業推進コンソーシアム」

県民生活に最も身近なプラスチックであるペットボトルがペットボトルに繰り返し再生される社会を目指し、モデル事業を行うため、R2年3月に発足

【構成員】県、(一社)全国清涼飲料連合会、日本チェーンストア協会関東支部、(公社)神奈川県産業資源循環協会、再生事業者2社



R2.3.30発足式



令和2年度のペットボトルリサイクルの状況

PETボトルリサイクル推進協議会「PETボトルリサイクル年次報告書2021」のデータを元に作成



飲料メーカーを会員に持つ一般社団法人全国清涼飲料連合会も、「2030年ボトルtoボトル比率50%宣言」を発表し、取組を推進

コンソーシアムによるモデル事業の実施

①小田急本厚木駅(東口改札)での実証実験

※実施期間: 令和4年1/12~2/28 (予定)



②河西工業(株)(寒川町)での実証実験

※実施期間: 令和4年1/24~2/18 (予定)



クリーン活動の拡大の取組

○クリーン活動の拡大

「かながわクリーン運動」

令和元年度実績：56万人参加

○「かながわクリーンアクティブ・フォーラム」

(今後開催予定)

市民団体の活動報告、行政や企業の情報提供、相互の連携促進

○不法投棄対策の推進

- ・スカイパトロールの実施
- ・団体・企業と連携・協力した監視活動の実施 等



ビーチクリーンの様子

出典：(公財)かながわ海岸美化財団HP



Kanagawa Prefectural Government

普及啓発の取組

神奈川県

かながわプラごみゼロ宣言

クジラからのメッセージ

2018年夏、鎌倉市由比が浜でシロナガスクジラの赤ちゃんが打ち上げられ、胃の中からプラスチックごみが発見されました。神奈川県は、これを「クジラからのメッセージ」として受け止め、持続可能な社会を目指すSDGsの具体的な取組として、深刻化する海洋汚染、特にマイクロプラスチック問題に取り組みます。2030年までのできるだけ早期に、リサイクルされない、廃棄されるプラごみゼロを目指します。

次の3つの取組について始めてまいります。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

- ワンウェイ(使い捨て)プラの削減
マイバッグの利用、フック商品の削減等
- プラごみの再生利用の推進
ペットボトルの3分別、再生プラスチック製品の利用等
- クリーン消費の拡大等
ごみ拾い活動や取組学習等

問合せ先▶ 神奈川県 環境政策局 環境課 資源管理推進課 電話 045-210-4147(直通)



ステッカー

Kanagawa Prefectural Government

私たちの環境行動宣言かながわエコ10トライ

トライ! マイエコ10宣言《プラごみゼロ宣言バージョン》

プラスチックによる海洋汚染を防ぐため、16の「プラごみゼロ宣言」の中からできそうなことを10個選んでみましょう! そして、ぜひ実践しましょう!

①プラスチック製ストローの使用は控える	②マイバッグを持参し、レジ袋はもらわない	③マイボトル、マイ箸を持ち歩く	④お店でプラスチック製スプーンなどをもらわない
⑤スーパーなどで食品を小分けにするポリ袋の使用を減らす	⑥ごみの少なくなるものを選んで買う	⑦食品の保存の際は、ふたつき容器を使う	⑧買い物の時は、簡易包装を頼む
⑨海岸などでのレジャーのおとは、ごみを持ち帰る	⑩海岸などのごみ拾いに参加する	⑪使っているものの識別マークを確認する	⑫プラごみはルールに従って、分別して出す
⑬自分がどのくらいプラごみを出しているか考える	⑭プラごみが出ないようにリサイクルできるか調べてみる	⑮家族や友人にプラごみを減らすよう呼びかける	⑯プラごみによる海洋汚染について調べてみる

HPからダウンロード! (マイエコ10宣言HP: <http://www.pref.kanagawa.jp/docs/tp4/str/1300476/index.html>)

マイエコ10宣言



エコバッグ

募集日 (記入日)

年 月 日

氏名 (ニックネーム可)

お住まいの市町村

年 代

～19・20～29・30～39
40～49・50～59・60～69
70～

メールアドレス (任意)

①2日、環境保護をテーマにSNSにてお話しします!

(募集)

1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12



ペットボトルは3分別

①キャップは別容器に入れて回収する
②ラベルは別容器に入れて回収する
③本体は別容器に入れて回収する

みんなの力でゼロプラごみゼロ

STOP!! ボイ捨て

みんなの力でゼロプラごみゼロ

鉄道広告

「かながわプラごみゼロ宣言」の新しい仲間はこちら

このキーホルダーは、弊イトーヨーカ堂が店頭で回収したキャップと、多くの人が参加したクリーン活動で集めたキャップから作りしました。

この製品の収益には再生紙が活用されています。

キャップをリサイクルして作ったキーホルダーです。かばんや自転車につけてね!

反射して光る!!

ペットボトルはボトル、ラベル、キャップに分別しよう!

反射材付きキーホルダー

普及啓発の取組



プラごみゼロ宣言の普及啓発動画(2分43秒、15秒)
YouTube公開中

少女が環境問題を自分事と捉え、ペットボトル3分別やビーチクリーンなどを通して自然を大切にすることを表現しています。アート作品の制作に参加する小学生も出演しています。



The Moment. Kensuke Takahashi

利便性のみを追求してきたこれまでの社会。使い捨てのプラスチックごみで汚れてしまった海…いま、「このままではいけない」と私たちは気づき、行動を起こそうとしています。

この作品は、私たちの選択で豊かな未来を作っていきたい、という願いを込めて描かれました。

その他 現在の取組

- LINEを活用したプラごみゼロ総合情報プラットフォーム
プラごみゼロの取組みへの参加者を拡大するため、LINEを活用してクリーン活動やイベントに関する情報の収集・発信などを行う、かながわプラごみゼロ宣言の総合情報プラットフォーム(基盤)を構築中
- YouTube広告
プラごみゼロ宣言の普及啓発動画を、YouTube動画広告として掲載し、プラごみ削減に係る普及啓発を図る
※3月21日まで配信予定



※ 開発中のためイメージ

「廃棄物の不適正処理の防止等に関する条例」の改正(予定)

プラスチックごみによる海洋汚染問題の解決に向け、県がプラスチックごみ対策を継続的に推進するための根拠規定と、事業者・県民の責務規定の追加等を行う

主な見直し内容

県の責務の追加	<ul style="list-style-type: none">・ プラごみの排出抑制、再資源化、清掃活動拡大の行動計画の策定・ 県民・事業者等の取組を促進するための施策の実施 <p>※行動計画には、プラスチック資源循環法に基づく国の取組に準じた県としての取組みも規定</p>
事業者・県民の責務の追加	地域における清掃活動等への協力

パブリックコメント

募集期間： 令和4年1月21日(金)～2月19日(土)

神奈川県HP「意見募集(パブコメ)」からフォームメール等で御意見をお寄せください。

ご清聴、ありがとうございました。